

図書館通信



豊かな時間を図書館で

令和元年
(2019年)

6



月号

第459号 (第38巻第3号)

【目次】

- | | | | |
|-----|---------------|------|--------------------------|
| P 1 | サポーター発足会のお知らせ | P 6 | 職員コラム |
| P 2 | 行事と展示のお知らせ | P 7 | 職員のおすすめ本 |
| P 3 | 事業報告・寄附報告 | P 8 | 新着図書案内 |
| P 4 | アーニス分館だより | P 12 | カレンダーとお知らせ、
図書館施設のご案内 |
| P 5 | 市民のひろば | | |

編集・発行 登別市立図書館

URL <http://www.noboribetsu.ed.jp/~iinkai/library/>

〒059-0012 登別市中央町5丁目21-1

E-mail toshokan@city.noboribetsu.lg.jp

電話 (0143) 85-4324 FAX (0143) 85-4325

『図書館市民活動サポーター 発足のつどい』を開催します。

登別市立図書館は「市民とともに成長する図書館」「地域に根ざした図書館」をめざし、「地域づくり」に積極的に関わっていきたくと考えています。

市民の皆さまの経験や技術・知識を活かせる場、図書館活動を通じ人々が出会いつながれる場として、図書館を舞台に様々な活動を自主的に行う「図書館市民活動サポーター」を立ち上げます。このたび、サポーターの発足にあたり参加希望者が一同に会する「発足の集い」を開催します。

「図書館市民活動サポーター」はお1人でもご参加いただけます。また活動時間はお自分の都合の良い時間でOKです。興味や関心のある方は是非ご参加ください。

日時 令和元年6月15日(土) 13時30分～
会場 図書館3階 会議室

※説明会に出席されなかった方でもご参加いただけます。事前の申込は不要です。

映画会

※会場はどちらも図書館3階会議室です。
入場無料でどなたでもご覧いただけます！

今月は1日です！（毎月第1土曜日に開催）

こども映画会 ①「おじいさんと不思議なおくりもの」（アニメ 16分）
10時30分～ ②「注文の多い料理店」（アニメ 23分）


名画鑑賞会 「チャップリンコレクション『独裁者』」（洋画 126分）
13時30分～

イベント・講座

①**ビブリオバトルの夕べ**・・・共催 いぶりびぶりぶ♪ 松田靖子さん

お茶を飲みながら、お気に入りの本の紹介を楽しみます。

開催日時 6月20日（木） 18時～19時30分

 申込不要

おはなし会

※会場：①、③図書館1階えほんのへや
②図書館3階会議室

①**えほんのへやのおはなしかい**（絵本や紙芝居の読み聞かせ）

日時 6月8日（土） 14時より

②**おはなしくれよん**（えほんとわらべうたあそび）

日時 6月12日（水） 10時30分より

③**おはなしぽけっと**（絵本や紙芝居の読み聞かせ、エプロンシアターなど）

日時 6月22日（土） 13時30分より



大切なお知らせ

7月4日（木）～11日（木）は、本の点検・整理のため本館及びアーニス分館が休館となります。（各配本所・こぐま号は開館）

ロビー展示

※会場は図書館1階ロビーです。
入場無料でどなたでもご覧いただけます！

ただいま**開催中**！➡

『寄席を愉しむ』

期間：6月11日（火）まで

★まもなく**開催**！➡

『登別市立小・中学校教科書展』

期間：6月14日（金）～6月27日（木）

事業報告

こどもの日の催し 第1弾 牛乳パックで作ろう 風車・コマ (おはなしぽけっと主催)を開催しました

5月2日(木)にボランティア団体「おはなしぽけっと」による工作が行われました。ゴールデンウィークの谷間でしたが、はさみとセロテープを使って簡単にできる風車やコマを作りました。

きれいに色をつけて完成したあとは、さっそく自作のコマをまわしてにぎやかに遊んでいました。

こどもの日の催し 第2弾 こどもの日 特別開館(児童室)

5月5日(日)例年どおり開館した児童室で「こどもの読書週間」の行事として、さまざまな催しが行われました。

クジを引いて紙に書いてあるテーマの本を探して借りると、シールやメモ帳などの景品が選べる「本さがしゲーム」は子ども達に好評で、30名以上の参加がありました。

また、午後からはこどもの日の特別企画として4冊すべて大型絵本の読み聞かせを行いました。

館長が読んだ「パパ、お月さまとって!」は、さまざまなしかけのある絵本ですが、ページをめくるたびに普段の本より大きなしかけに、おはなし会の参加者も驚いていたようです。

その他にも、こどもの日の背比べや「本の帯」を利用して職員が手作りしたしおりを全員にプレゼントをしたりと、こどもの日の一日が楽しく過ぎていきました。



ご寄附の報告

昨年度末から5月にかけて頂戴いたしました図書購入費のご寄附についてご報告します。

去る3月1日、新和産業株式会社様より平成28年度から3年連続となるご寄附をいただき、3年間で約50冊の図書を購入させていただきました。

また、5月8日には登別ロータリークラブ様より47年目となるご寄附をいただきました。同クラブ様からのご寄附では、累計1,400冊以上の図書を購入させていただいております。

さらに5月10日には、登別建設協会様より昭和50年度から数えて34回目となるご寄附をいただきました。同協会様からの寄附冊数は累計約3,000冊に上っています。

皆さまから賜りましたご篤志に改めて御礼申し上げます。どうもありがとうございました。

アーニス分館だより

アーニス分館では

- * 「今月のおすすめ」の展示を行っています。
- * オンライン・データベースを利用できます。
- * DVDを視聴できます。
- * 見やすい大活字本もあります。
- * 新聞コーナーでは読売新聞と室蘭民報を
ご覧いただけます。



お掃除・お片づけおすすめ本

ガラリとお部屋の雰囲気を変えるのも楽しい!!!

《新刊おすすめ本紹介》

おいしく食べる食材の手帖 / 野崎洋光著 / 池田書店



「分とく山」総料理長の野崎洋光さんが、食材が豊富になり、流通が発達し、調理器具も発展した現代社会において、食材に合わせた使い方や調理法を伝授します!!

見出しを「野菜」「肉・卵」「魚介」「米」「調味料・だし素材」に分け、同じ食材なのに選び方や下ごしらえ、調理の仕方や調味料との相性によっておいしさがパワーアップ!!
そうする事で何故おいしいのか? おいしくないのか?
疑問に答えてくれます!! 食材についての知識を得て、楽しく美味しい料理を手作りしてみませんか?



除籍本から広がる世界

登別郷土文化研究会 街道重昭

買物ついでに、また除籍本をもらってきました。ショッピングセンターアーニス2階にあるアーニス分館からです。『神・人間・動物』（谷川健一、平凡社）という、うれしい本です。うれしい本というのは、手にできただけで、いつもホツとしてしまうところがあります。以来、机の上の「一等席」に鎮座、いわばツンドク状態でした。もったいない時間の空費がしばらく続きました。こんなていたらくに、終止符が打たれたのには、ちょっとしたわけがあります。牝鹿（めすじか）と、突然出くわしたのです。ニナルカの雑木林の、もと北曹工場長住宅のあたりです。道路に飛び出してきた牝鹿も、驚いたことでしょう。機敏に立ち止まり、数歩あとじさりしたあと、すぐつぎの行動へ身構えます。射抜くような視線は、立ちすくむこちらに、しっかり照準されています。どのぐらいのときが流れたことでしょう。意外なほどゆっくりとした歩調で、牝鹿は反対側の笹やぶに姿を消しました。ごく至近距離だったと思います。ともかく牝鹿一頭、まじまじと見つめたのは、はじめてのことでした。とてつもなく大きく、それは鹿というより、豊満な牛のように感じました。見開られた両の目は、十勝石（黒曜石）のようでした。

遅ればせながらの『神・人間・動物』には、鹿についての一章、「狩に騒ぐ太古の血」がありました。縄文時代のころから、本州も北海道も、よく鹿を食肉として利用してきたのでした。このことへの感謝の作法は、信仰に近いものがあつたようです。近年、地球温暖化の影響などで、北海道の鹿は個体数が急増し、農業被害の深刻さが伝えられています。また、食害による生物多様性のことも心配されています。「害獣駆除」された鹿たちは、一部ジビエ料理にまわされたりしますが、ほとんどは廃棄されていると聞きます。古くから、ごく親しい関係にあつた鹿を、いま「扱いあぐねている」ような気がします。『神・人間・動物』の、鹿が書かれた章を読み終えて、あらためてプロローグに戻ってみると、そこに、狼（おおかみ）のことが活写されていました。北海道の狼は、開拓植民事業の課題「畜産を成立させる」ためということで、絶滅政策をとって、明治20年代には根絶させています。当然のことですが、北海道の狼がいなくなつてからというもの、狼という動物のことは、口の端にもものぼらず、遠景に去ってしまいました。

プロローグでは、遠野（岩手県）などの伝承を知ることができました。狼は「大神」に由来することばで、田畑を荒らす鹿などを駆除してくれる益獣とされてきました。夜中に狼に会うときは、「油断なく鹿を追うてくだされ」と挨拶して通つたそうです。また、狼が子どもを生んだと聞くと、お見舞いに好物の塩を持っていく習慣まであつたそうです。幌別に伝えられている、アイヌ神謡（ユーカラ）を、かつて実際に聞く機会がありました。狼神の子が歌う部分は、一区切りごとに「ホテナオ」が、また小男が歌うくだりは「ピイツンツン」、そんな繰り返し（サケヘ）がすごく心地よかったこと、そして深い安らぎを感じたことなど、いまでも鮮明によみがえります。場所は知里森舎、口承してくれたのは、白老の大須賀さんだつたと思います。知里真志保先生の著書によると、幌別では狼のことを「ホロケウ」、または「ヌブリ・パ・コル・カムイ」（山の・かみてを・支配する・神）と呼んでいます。かつて鹿の天敵は、狼と熊、そして人間でした。いま狼がいなくなつてみて、鹿とどうつき合うのか、「活（い）かす」のか「殺す」のか、そんなことを考えるのは、やはり熊ではなくて、人間の側なのでしょう。その後、もう一冊除籍本をもらいました『木を読む』（林以一、小学館）です。

大鋸（おが）という大きなノコギリを使った、最後の木挽き職人の話。匠（たくみ）の技がさええと語られています。この本には、各紙の書評欄の切り抜きが、三カ所も添付されていました。初版から20年以上もたっている、古い本です。当時はまだ、書評欄の日付記入は不要だつたようです。いまだですか？いまは、しっかり記入されています。感謝不尽。

「ときには絵本を」



休日の過ごし方として読書という方がいると思います。私は小説やその時、気になった本などを読んでいます。ですが、いつもはすぐ集中して読み始められるのに、今日はなんだかあまり気のりせず読み進められないという日はないでしょうか。長い小説や厚い本はちょっと…という時は、雑誌やエッセイ、アンソロジーなどを読んでいます。

雑誌なども良いのですが、そんな時は絵本を読むことが多くおすすめです。大人になっても絵本を読む人は少ないのではないかと思います。私は大人になつてからのほうが図書館で借りて多く読んでいます。

文字が少なくても絵で伝えている絵本は、目にも鮮やかで、普段いかに文字を優先して目で追っているかが分かります。文章を読み終えるとすぐページをめくりたくなりますが、絵の中に次につながるような事が描いてあったりするので、見逃してしまうのがもったいなことがあります。

絵本も楽しく明るい内容のものばかりではありませんが、色々な作家さんがいてその時の気分、見た印象などで借りたものを読んでいます。細かく書き込まれた絵本の場合は隅々まで見ると目が多少疲れたりしますが、こんなに細かいところまでと感心の方が大きいです。

気になった作家さんの他の作品が見たくなった時は古い本でも図書館に所蔵していることがあります。もし棚に並んでいなくても、別の配本所や書庫にある場合もあります。本の場所や所蔵しているかどうか分からないなどあれば、窓口の職員にお尋ねください。探している本の書名の全部が分からず、一部分しか分からなくても調べることができます。時には「こんなお話だった」「こんな動物がでてきた」などの内容から探すこともあります。残念ながら探し当てられないこともあります。お尋ねください。自分で探したい場合は館内のタッチパネルのパソコンや図書館ホームページの蔵書検索から探す事もできます。

おすすめ上手な職員もおり、予定より多く本を借りたことも、しばしばあります。自分では手に取らなかったかもしれない本を知る事もでき、楽しみが増えたような気がします。

北海道に梅雨はないとはいえ、雨が多くなるこれからの季節。天気も気分もすぐれない時には、気分転換に久しぶりに絵本を開いてみるのはいかがでしょうか。



わたしのおすすめ本

今月の担当 ミズバショウ

『なでし子物語』

『なでし子物語 地の星』

『なでし子物語 天の花』

／伊吹有喜著／ポプラ社



シリーズになっているとは知らずに「地の星」を最初に読んだのですが、続きが気になり他の2冊も借りて一気に読んでしまいました。物語は峰生という山奥にあるお屋敷を舞台に母親から捨てられた耀子、妾の子として後継ぎに生まれた立海、女主人のおあんさん。この三人が会うことにより、それぞれの立場が徐々に変化していく様子を描いています。最初耀子は自分の存在を否定し、心を閉ざし過ごしていましたが、立海や暖かい大人たちに出会い少しずつ変わっていきます。立海も守ろうとする相手ができ、逞しくなっていきます。おあんさんも抗いても変わることなど出来ないと、諦めていた現状から変わろうとします。

なでしこの咲く丘、星空のきれいな空、広大なお屋敷、現実離れた世界から生活感のある話へと進んでいきます。淡い恋の行方が気になるところに思わぬ展開があったりして、物語の中に引き込まれていきました。文中に「どうしてと思わない、どうしたらと考える」という魔法の言葉があります。気持ちが前向きになる感じがしませんか。

中学生くらいの10代の方にも読んでもらいたい本です。



郷土資料紹介

『北海道ワンちゃんと泊まるこだわりの宿厳選ベストガイド』

カルチャーランド著／メイツ出版



ペットを飼っているとなかなかお出かけが難しくなります。一緒に連れて行っても宿泊となるとやはり尻込みしてしまいます。そんな悩みにこの本は答えてくれます。それぞれの宿の宿泊利用条件が細かく記載されているので、我が家のワンちゃんに合う宿を見つけることができそうです。



新着図書案内 令和元年6月 No.1

●印は今評判の本です。(電話やメール・ホームページでも予約を受け付けています)

書名	著者	書名	著者
0 総記		偉人たちの温泉通信簿	上永 哲矢
ビブリア漫談	笹倉 剛	世界とびある記 新装版	兼高 かおる
Word&Excelで困ったときに開く本 2019	朝日新聞出版	天皇陛下のプロポーズ	織田 和雄
イラストで読むAI入門	森川 幸人	温泉浴衣をめぐる旅	スタジオクウ
たのしいおさんぽ図鑑	ブンケン	誤読例に学ぶくずし字	小林 正博
弁護士YouTuberクボタに聞く 「これって犯罪ですか？」	久保田 康介	渡来人と帰化人	田中 史生
本をつくる 書体設計、活版印刷、手製本 -職人が手で作る谷川俊太郎詩集	鳥海 修ほか	● 鉄のカーテン 上・下 東欧の壊滅1944-56	アン・アプルボーム
● わたしのすきなもの	福岡 伸一	3 政治・経済・社会・教育	
1 哲学・宗教		スペシャリストたちの挑戦	川嶋 康男
● 人生は攻略できる	橋 玲	● マスコミ偽善者列伝 続	加地 伸行
小林秀雄の悲哀	橋爪 大三郎	● 私がオバさんになったよ	ジェーン・スーほか
笑顔と思いやりで幸せになる	坂東 真理子	手で見るといのち	柳楽 未来
まいにちが、あっけらん。高齢になっ た母の気持ちと行動が納得できる心得帖	なとみ みわ	なぜ必敗の戦争を始めたのか	半藤 一利 編・解説
仕事も毎日整う！働く女子の時間の ルール	日経WOMAN 編集部	子どもが幸せになることば	田中 茂樹
2 歴史・地理		後悔しない介護サービスの選び方 (10のポイント)	田中 元
プラタモリ 17 吉祥寺 田園調布 尾道 倉敷 高知	NHK「プラタモリ」 制作班監修	教授だから知っている大学入試のトリセツ	田中 研之輔
● プラタモリ 18 秩父 長瀬 大宮 室蘭 洞爺湖 宮崎		地域おこし協力隊	椎川 忍ほか
天皇の装束 即位式、日常生活、退位後	近藤 好和	日本をどのような国にするか	丹羽 宇一郎
街場の平成論	内田 樹	大清律刑律 2	谷井 俊仁訳解
平成史	保阪 正康	日ソ国交回復秘録 北方領土交渉の真実	松本 俊一
● 脱走王と呼ばれた男	デイヴィッド・ M. ガス	基礎から学ぶ社会保障 新版	芝田 英昭ほか
現代湯治全国泉質別温泉ガイド	日本温泉科学会 監修	子育ての知恵	高橋 恵子
● 旅行が200%楽しくなる！スーツケース取 納術	三田村 蒔子	● 刺し身とジンギスカン 捏造と熱望の日本食 福島芸能の灯消さず 震災を生きる人々	魚柄 仁之助
これからを生きる君へ	天野 篤	子連れ防災BOOK 全災害対応！	ママプラグ
後藤武士のすごい平成史	後藤 武士	世界の核被災地で起きたこと	フレッド・ピアス
ソロタビ札幌・函館	JTBパブリッシング	● さまよう遺骨	NHK取材班
世界史の実験	柄谷 行人	アラフォー・クライシス	NHK「クローズアップ現代+」取材班
古代史講義 戦乱篇	佐藤 信	だまされた！ 「だましのプロ」の心理戦術を見抜く本	多田 文明
戦国古文書入門	渡邊 大門	裏昭和史探検	小泉 信一
● ほっかいどう百年物語 上巻 北海道命名150年記念	STVラジオ	いちばん親切なひもとロープの結び方	主婦の友社
伝える人、永六輔 『大往生』の日々	井上 一夫	世界のすごいお葬式	ケイトリン・ドーティ
旅のアイデアノート	森井 ユカ	経済のことよくわからないまま社会人 になった人へ	池上 彰
街道ぶらり歩き	笠松 治良		

新 着 図 書 案 内 令和元年6月 No.2

広報のほりべつでも新着図書の紹介をしています。

書 名	著 者	書 名	著 者
自衛隊さんありがとう 知られざる災害派遣活動の真実	井上 和彦	事故の哲学	齊藤 了文
柳田國男 ささやかなる昔	柳田 國男	最新電力システムの基本と仕組みが よ〜くわかる本	木舟 辰平
最新働き方改革法と労働法のしくみ	木島 康雄 監修	● おからレシピ	石澤 清美
データが語る日本財政の未来	明石 順平	日本懐かしクルマ大全	阿部 至晃
生活者の平成30年史	博報堂生活 総合研究所	YouTubeの時代	ケヴィン・アロッカ
親を棄てる子どもたち	大山 真人	ゆる片づけBOOK	オレンジページ
家賃滞納という貧困	太田垣 章子	悪魔のご褒美デビルサンド	木村 幸子
銀行員の逆襲	岡内 幸策	お着物一年生	山口 さくら
60歳からの働き方で、もらえる年金が こんなに変わる	奥野 文夫	日産vs. ゴーン	井上 久男
資本主義って悪者なの？	ジャン・ジグレル	おいしく食べる食材の手帖	野崎 洋光
4 自然科学・医学		● 何も作りたくない日はご飯と汁だけ あればいい	ワタナベ マキ
● その調理、まだまだ9割の栄養 捨ててます！	東京慈恵会医科大学 附属病院栄養部監修	世界一美味しい手抜きごはん	はらぺこグリズリー
ナショナルジオグラフィックにわかには信 じがたい本当にあったこと	デビッド・ブラウン	装飾手芸テクニックで作るとっておき の小物	グラフィック社 編集部
強制不妊 旧優生保護法を問う	毎日新聞取材班	コーヒー抽出の法則	田口 護
10代脳の鍛え方	ジェス・ P. シャットキン	女の子とママの手作りおそろい服 女の子:90~130cmサイズ ママ:S~L	ブティック社
寝たままできる骨ストレッチ	松村 卓	リサイクル雑貨総集編	ブティック社
● 鳥肉以上、鳥学未満。	川上 和人	コウケンテツのだけ弁	コウ ケンテツ
カレーの匂いがわからなくなったら読む本	三輪 高喜 監修	厨房から台所へ	タサン志麻
35の名著でたどる科学史	小山 慶太	● 「脱使い捨て」でいこう！	瀬口 亮子
敗者の生命史38億年	稲垣 栄洋	役所は教えてくれない定年前後 「お金」の裏ワザ	荻原 博子
〈いのち〉とがん	坂井 律子	暮らしは今日も実験です	本多 さおり
読むだけで目がよくなる37の名文	林田 康隆	冷凍保存で作る1週間のお弁当キット	川上 文代
動物園から未来を変える	川端 裕人・ 本多 公夫	少ない物で「家族みんな」がすっきり暮ら す	やまぐち せいこ
「肺炎」に殺されない！36の習慣	生島 壮一郎	いちばんわかりやすいビーズの教科書	ブティック社
科学の誤解大全	マット・ブラウン	かわいい女子文具図鑑 2019	choudo
● データは騙る	ゲアリー・スミス	がま口を作る	イシカワ カオル
● 脚・ひれ・翼はなぜ進化したのか	マット・ ウィルキンソン	6 産業・商業	
専門医が教える世界一わかりやすい 下肢静脈瘤の治療と予防	齋藤 陽	となりの野生ヒグマ	北海道新聞野生生物 基金・北海道新聞社
鼻は1分でよくなる！	今野 清志	又吉直樹のヘウレーカ！	「又吉直樹のヘウレー カ！」番組制作班
5 技術・工業・家事		資格がなくてもインバウンドの ツアーガイドになれる本	齊藤 常治
ニセコ松風のかわいい和菓子	渡辺 麻里	元・保護猫と世界一幸せに暮らす方法	主婦の友社
天然染料の科学	青木 正明	長く乗り続けるためのクルマ運転 テクニック図解	高齢者安全運転 支援研究会
● おいしい時間をあの人へ	伊藤 まさこ	コンビニドリーム	吉岡 秀子

新着図書案内 令和元年6月 No.3

●印は今評判の本です。(電話やメール・ホームページでも予約を受け付けています)

書名	著者	書名	著者
6 産業・商業		913 日本の小説	
春夏秋と楽しめるかわいい コンテナガーデン	エマ・ハーディ	● チンギス紀 4 遠雷	北方 謙三
もらってうれしいキャラフラワー	山本 恵	呪護	今野 敏
仕事論「水曜どうでしょう」2人の名物 ディレクターが働き方を語る	藤村 忠寿・ 嬉野 雅道	● とめどなく囁く	桐野 夏生
素敵に飾る小さな庭	黒田 健太郎	信州・善光寺殺人事件	梓 林太郎
誰も教えてくれないイベントの教科書	テリー植田	海の見える丘	くすのき しげのり
7 芸術・スポーツ		● カゲロボ	木皿 泉
ブッシュクラフト読本	長谷部 雅一	● 中野のお父さんは謎を解くか	北村 薫
大学駅伝よもやま話	出口 庸介	● もういちどベートーヴェン	中山 七里
虹色球団 日拓ホームフライヤーズの10カ月	長谷川 晶一	山海記	佐伯 一麦
藤田嗣治 腕一本で世界に挑む	佐藤 幸宏 監修	暗殺日和はタロットで	古川 春秋
そのとき、西洋では 時代で比べる日本美術と西洋美術	宮下 規久朗	ゆるキャラの恐怖(桑潟幸一准教授のスタ イリッシュな生活 3)	奥泉 光
PIXAR 世界一のアニメーション企業の今 まで語られなかったお金の話	ローレンス・レビー	大統領に告ぐ 新橋署刑事課特別治安室<NEO>	永瀬 隼介
● 今夜、笑いの数を数えましょう	いとう せいこう	方丈の孤月 鴨長明伝	梓澤 要
和の香りを楽しむ「お香」入門	山田松香木店 監修	レフトハンド・ブラザーフッド	知念 実希人
東大生がつくったブロックの世界	東大LEGO部	渦 妹背山婦女庭訓魂結び	大島 真寿美
moreゼンタングル	Suzanne McNeill	● 飛族	村田 喜代子
さくら	野呂 希一 写真	こどもの季節 恋愛論序説	佐野 洋子
シドロモドロ工作所のはじめての お彫刻教室	田島 享央己	雨にも負けず 小説ITベンチャー	高杉 良
素朴な味わいを楽しむ陶芸基本の テクニク70	柚木 寿雄 監修	● 新宿花園裏交番坂下巡査	香納 諒一
● 志ん生が語るクオリティの高い貧乏の ススメ	美濃部 由紀子	東京クライシス 内閣府企画官・文月祐美	安生 正
● ドラマへの遺言	倉本 聰・ 碓井 広義	ふたたび蝉の声	内村 光良
若冲、蕭白、芦雪…&其一にドキッ! 奇想の画家たち	日経BP社	割れた誇り (ラストライン 2)	堂場 瞬一
図説英国インテリアの歴史	小野 まり	● 闇夜の底で踊れ	増島 拓哉
ホッとする絵手紙 描き方とアイデアヒント集	若海 美智子	● キッド	相場 英雄
三浦雄一郎 挑戦は人間だけに許されたもの	三浦 雄一郎	十津川警部坂本龍馬と十津川郷士 中井庄五郎	西村 京太郎
人生100年時代を元気に楽しむため の還暦筋トレ	坂詰 真二	十津川警部郷愁のミステリー・レイルロード	
声優道	声優グランプリ 編集部	えちごトキめき鉄道殺人事件	
8 言語		● 傑作はまだ	瀬尾 まいこ
1日1回「あいうえお」ボケないための 滑舌トレーニング	赤間 裕子	毒よりもなお	森 晶麿
たった一言で印象が変わる大人の 日本語100	吉田 裕子	歳三の剣	小松 エメル
もっと心とカラダを整えるおとなのための1 分音読	山口 謠司	● 麦本三歩の好きなもの	住野 よる
同時通訳者のここだけの話	関根 マイク	夜の塩	山口 恵以子

新 着 図 書 案 内 令和元年6月 No.4

広報のほりべつでも新着図書の紹介をしています。

書 名	著 者	書 名	著 者
住友を破壊した男 伊庭貞剛伝	江上 剛	ぼくはきっとやさしい	町屋 良平
● お茶壺道中	梶 よう子	救いの森	小林 由香
イシイカナコが笑うなら	額賀 滯	父と私の桜尾通り商店街	今村 夏子
真実の航跡	伊東 潤	9 その他の文学	
こうして誰もいなくなった	有栖川 有栖	シルバー川柳 大安吉日編	みやぎ シルバーネット
● 陰陽師 女蛇ノ巻 (「陰陽師」シリーズ 短編集14)	夢枕 獏	すごい言い訳!	中川 越
仏陀の小石	又吉 栄喜	東京は遠かった 改めて読む松本清張	川本 三郎
梟の一族	福田 和代	● 人生は美しいことだけ憶えていればいい	佐藤 愛子
● 傲慢と善良	辻村 深月	● バイリンガル・エキサイトメント	リービ英雄
● 死にがいを求めて生きているの	朝井 リョウ	はればれ、お寿司	嵐山 光三郎ほか
● おっさんたちの黄昏商店街	池永 陽	生還	小林 信彦
奇説無惨絵条々	谷津 矢車	北の文学 2017	北海道新聞社
教室が、ひとりになるまで	浅倉 秋成	● 絲的ココロエ	絲山 秋子
人外	松浦 寿輝	わが天幕焚き火人生	椎名 誠
くらやみガールズトーク	朱野 帰子	大好きな町に用がある	角田 光代
● 機捜235	今野 敏	● ゆるく考える	東 浩紀
てらこや青義堂 師匠、走る	今村 翔吾	森瑤子の帽子	島崎 今日子
壺中に天あり獣あり	金子 薫	ユーモアの極意 文豪たちの人生点描	中村 明
● みかんとひよどり	近藤 史恵	なにものにもこだわらない	森 博嗣
月とコーヒー	吉田 篤弘	● 孤独のすすめ 続	五木 寛之
ハムレット殺人事件	芦原 すなお	皇室、小説、ふらふら鉄道のこと。	原 武史・ 三浦 しをん
ペンギン・ボックスが選んだ 日本の名短篇29	ジェイ・ルービン	伊丹十三選集 3 日々是十三	伊丹 十三
インソムニア	辻 寛之	ここから世界が始まる トルーマン・カポーティ初期短篇集	トルーマン・ カポーティ
そのナイフでは殺せない	森川 智喜	英国人捕虜が見た大東亜戦争下の 日本人	デリク・クラーク
● 趣味で腹いっぱい	山崎 ナオコーラ	座席ナンバー7Aの恐怖	セバスチャン ・フィツェック
神を統べる者 厩戸御子倭国追放篇	荒山 徹	● 迷路の外には何がある? 『チーズはどこ へ消えた?』その後の物語	スペンサー・ ジョンソン
人工知能	幸田 真音	トールキンのアーサー王最後の物語	J. R. R. トールキン
リハーサル	五十嵐 貴久	いつも歌があった	南 こうせつ
トイレで読む、トイレのためのトイレ小説	電月 あさみ	脚本家という仕事	ペリー荻野
炯眼に候	木下 昌輝	「人生最期」の処方箋	曾野 綾子
漫画ひりひり	風 カオル	平成遺産	川島 小鳥ほか
ジャンヌ	河合 莞爾	生まれ変わり	ケン・リュウ
● 介錯人	辻堂 魁	ザ・ディスプレイスト 難民作家18人の自分と家族の物語	ヴィエト・ タン・ウェン

図書の除籍について

「図書館は蓄える文化」（詩人長田弘）といわれます。本市図書館はすでに蔵書が収容能力に達しており他の施設などの一角を借りて資料の所蔵に努めていますが、「入ってきた分だけ除籍」せざるを得ない状況です。除籍にあたっては「登別市立図書館除籍方針」に基づき、1冊1冊過去の利用実績や道立図書館なども含めた所蔵調査を行っています。伊達と室蘭の図書館でも所蔵し「西いぶり広域図書館」により利用者に迅速に提供できる資料は除籍対象にしています。除籍した図書はアーニス2階と市民活動センター2階にコーナーを常設し市民のみなさまに還元することで有効活用を図っています。
(図書館長)

図書館カレンダー 令和元年(2019年) 6月

日	月	火	水	木	金	土
						1 映画会
2	3 本館休館	4	5	6 分館休館 ブックスタート	7	8 えほんのへやのおはなし会
9	10 本館休館	11	12 おはなしくれよん	13 分館休館	14	15 サポーターの集い
16	17 本館休館	18	19	20 分館休館 ビブリオバトル	21	22 おはなしほけつと
23	24 本館休館	25	26 ライブリー スタート おはなし会	27 分館休館	28 図書整理日 本館休館 分館休館	29
30	7/1 本館休館	7/2	7/3	7/4 蔵書点検 本館休館 分館休館	7/5 蔵書点検 本館休館 分館休館	7/6 蔵書点検 本館休館 分館休館

図書館施設案内

	本館 こぐま号	アーニス分館	鷺別配本所	登別配本所	温泉配本所
住所	中央町5-21-1	中央町4-11	鷺別町3-3-4	登別東町3-6-7	登別温泉町58-1
電話	85-4324	81-2182	86-8823	83-1131	84-2068
休館日	月曜日・祝日・年末年始 本館：最終金曜日 こぐま号：日曜日	木曜日 最終金曜・年末年始	年末年始のみ		なし
開館時間	10:00～18:00 (木曜のみ19:30)	10:00～20:00	9:00～18:00 (昼休みあり)	9:00～17:30 土日祝 17:00	9:00～15:00